

教科目標

- 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
- (1) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。
 - (2) 論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
 - (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

評価の観点及び趣旨

① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
○社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりしている。	○「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	○言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを広げたりしながら、言葉がもつ価値を認識しようとしているとともに、読書を生活に役立て、言葉を適切に使おうとしている。

年間指導計画・評価計画

月	単元(題材)名 ※【】内数字は配当時数	単元(題材)の目標	観点ごとの評価場面 評価方法(評価資料)
4	1 広がる学び 「見えないだけ」 【1】 「アイスプラネット」 【4】 「意見を聞き、整理して検討する」【1】	① ・抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解し、使う。 ・現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知る。 ・第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字350字程度から450字程度までの漢字を読む。 また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使う。	音読・朗読 発言内容 漢字ノート、ワーク 授業ノート
5	「季節のしおり 春」 「枕草子」 【5】 「文法への扉1 単語をどう分ける? 文法1 自立語」 【2】 「漢字1 熟語の構成」「漢字に親しもう」 【1】	② ・文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定の仕方などを捉える。 ・文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりする。 ・目的や場面、意図に応じて、社会生活の中から話題や題材を集め、異なる(多様な)立場や考えを想定しながら集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にし、伝え合う内容を検討する。 ③ ・言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。	(現代・古文・文法) 自主ノート (漢字・短作文・その他復習予習) ワークシート 漢字小テスト 定期テスト

6	<u>2 多様な視点から</u> 「クマゼミ増加の原因を探る」【4】 「情報整理のレッスン 思考の視覚化」 【1】 「情報を整理して伝えよう」 【5】 「漢字に親しもう2」 【1】 「文法への扉1 単語をどう分ける? 文法1 自立語」 【3】	① ・話や文章の構成や展開について理解を深める。 ・意見と根拠、具体と抽象など情報との関係について理解する。 ・言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気付く。 ・単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解する。	音読、発言内容 漢字ノート、ワーク 授業ノート (現代・文法) 自主ノート (漢字・短作文・その他復習予習) ワークシート 漢字小テスト 定期テスト
	② ・文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係などを捉える。 ・文章と図表などを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈する。 ・自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫する。 ・資料や機器を用いるなどして、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫する。		
	③ ・言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にしていや考えを伝え合う。		
7	<u>・情報社会を生きる</u> 「メディアを比べよう/メディアの情報を生かして/情報を集めよう / 「自分で考える時間」をもとう」 【3】	① ・情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し、使う。	発言内容 漢字ノート、ワーク 授業ノート(現代) ワークシート 定期テスト
	② ・目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得て、内容を理解する。 ・観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考える。 ・目的や意図に応じて、多様な方法で集めた材料を整理する。		
	③ ・言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にしていや考えを伝える。		
7	<u>3 言葉と向き合う</u> 「短歌に親しむ」 [書く]短歌を作ろう 「短歌を味わう」 【6】 「言葉の力」 【2】 「言葉1 類義語 対義語 多義語」 【2】 「メディアの特徴を生かして情報を集めよう」 【1】	① ・抽象的な概念を表す語句の量を増やすとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かす。 ・抽象的な概念を表す語句の量を増やすとともに、類義語や対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。	音読・朗読 発言内容 漢字ノート、ワーク 授業ノート (現代・古文・文法) 自主ノート (漢字・短作文・その他復習予習) ワークシート 漢字小テスト 定期テスト
	② ・観点を明確にして短歌を比較するなどし、短歌の構成や表現の効果について考える。 ・文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりする。 ・表現の効果を考えて描写するなど、自分の考えが伝わる短歌になるよう工夫する。		
	③ ・言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にしていや考えを伝える。		
7	<u>・読書生活を豊かに</u> 「読書を楽しむ」 【1】 「翻訳作品を読み比べよう」	① ・本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かす。	音読・朗読 漢字ノート、ワーク 自主ノート

9	『星の王子さま』 「読書コラム『わからない』は人生の宝物」「読書案内 本の世界を広げよう」 【1】 「季節のしおり 夏」	② ・観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や表現の効果について考える。 ・文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりする。	ワークシート
		③ ・言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合う。	
10	4 人間のきずな 「ヒューマノイド」 【4】 「字のない葉書」 【3】 「聞き上手になろう 質問で思いや考えを引き出す」 【1】 「表現を工夫して書こう 手紙や電子メールを書く」 【3】 [推敲]表現の効果を考える 【1】 「言葉2 敬語」 【1】 「漢字2 同じ訓・同じ音をもつ漢字」「漢字に親しもう」 【1】	① ・抽象的な概念を表す語句の量を増やすとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かす。 ・言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気付く。 ・敬語の働きについて理解し、話や文章の中で使う。 ・第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち 350 字程度から 450 字程度までの漢字を読む。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使う。	音読・朗読 発言内容 漢字ノート、ワーク 授業ノート (現代・文法) 自主ノート (漢字・短作文・その他復習予習) ワークシート 漢字小テスト 定期テスト
		② ・目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得て、内容を理解する。 ・観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や表現の効果について考える。 ・論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめる。 ・根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるよう工夫する。 ・読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整える。	
		③ ・言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合う。	
	5 論理を捉えて 「モアイは語るー地球の未来」 【4】 「思考のレッスン1 根拠の吟味」 【1】 「根拠の適切さを考えて書こう 意見文を書く」 【4】 「漢字に親しもう4」 【1】	① ・意見と根拠、具体と抽象など情報との関係について理解する。	音読、発言内容 漢字ノート、ワーク 授業ノート(現代) 自主ノート (漢字・短作文・その他復習予習) ワークシート 漢字小テスト 定期テスト
	② ・文章の構成や論理の展開について考える。 ・文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりする。 ・根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるよう工夫する。		

	「聴きひたる『月夜の浜辺』」【1】 「季節のしおり 秋」	③ ・言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合う。	
11	6 いにしへの心を訪ねる 「音読を楽しもう 『平家物語』」 【1】 「扇の的一『平家物語』から」 【3】 「仁和寺にある法師—『徒然草』 から」 【4】 [書く]人物の特徴を捉えて論じよう 【1】 「漢字の風景」 【3】	① ・作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しむことができる。 ・現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知る。 ② ・登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈する。 ・文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりする。 ・伝えたいことが分かりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫する。 ・観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や表現の効果について考える。 ③ ・言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合う。	音読、発言内容 漢字ノート、ワーク 授業ノート(古文) 自主ノート (漢字・短作文・その他復習予習) ワークシート 漢字小テスト 定期テスト
	12	7 価値を語る 「君は『最後の晚餐』を知っているか」「『最後の晚餐』の新しさ」 【4】 「思考のレッスン1 具体と抽象」 【1】 「漢字に親しもう5」 【1】 討論異なる立場から考える 【1】 「立場を尊重して話し合おう 討論で多角的に検討する」 【4】 「文法への扉2 走る。走らない。走ろうよ。文法2 用言の活用」 【2】	① ・意見と根拠、具体と抽象など情報との関係について理解する。 ・情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し、使う。 ・抽象的な概念を表す語句の量を増やすとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・単語の活用、助詞や助動詞などの動き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解することができる。 ② ・目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得て、内容を解釈する。 ・観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や表現の効果について考える。 ・根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるよう工夫する。 ・表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだす。 ③ ・言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合う。
1	・読書に親しむ 「自分らしさを認め合う社会へ父と話せば／六千回のトライの	① ・本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かす。	音読・朗読 漢字ノート、ワーク 自主ノート

2	先に 読書案内 本の世界を広げよう 【1】 「季節のしおり 冬」	② ・文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりする。 ③ ・言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合う。	
	8 表現を見つめる 「走れ メロス」 【6】 [書<]作品の魅力をまとめ、語り合おう 【1】 「文法への扉3 一字違いで大違い 文法3 付属語」 【2】 「描写を工夫して書こう」 【4】 「言葉3 話し言葉と書き言葉」 【2】 「漢字3 送り仮名」 【2】 「鍵」 【2】	① ・抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語や対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解する。 ・話や文章の構成について理解を深める。 ・話し言葉と書き言葉の特徴について理解する。 ・第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち、350字程度から450字程度までの漢字を読む。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使う。 ・情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使う。 ② ・登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈する。 ・文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりする。 ・根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるよう工夫する。 ・伝えたいことが分かりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫する。 ・表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだす。 ・互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめる。 ・読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整える。 ・詩を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりする。 ③ ・言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合う。	音読・朗読 発言内容 漢字ノート、ワーク 授業ノート (現代・文法) 自主ノート (漢字・短作文・その他復習予習) ワークシート 漢字小テスト 定期テスト
3	・振り返り 「国語を学ぶ意義」を考え、コピーを作る 【5】 ・国語の力試し 【3】	① ・言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気づく。 ・敬語の働きについて理解し、話や文章の中で使う。 ・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解する。	言内容 漢字ノート、ワーク 授業ノート (現代・文法)

		<p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> 文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定の仕方などを捉える。 観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考える。 自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫する。 論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめる。 根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫する。 読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整える。 	自主ノート (漢字・短作文・その他復習予習) ワークシート
		<p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合う。 	

定期テスト範囲 (予定)

1 学期期末テスト	2 学期中間テスト	2 学期期末テスト	学年末テスト
1 広がる学びへ ～ 3 言葉と向き合う	4 人間のきずな	5 論理を捉えて ～ 6 いにしへの心を訪ねる	7 価値を語る ～ 8 表現を見つめる

学習上のアドバイス

授業について

- 学力の向上は、とにかく授業を大切にすることが一番です。集団で学び合いながら、力を付ける気持ちを持ちましょう。
- 疑問点を明らかにして授業に臨み、その疑問を解決する、という姿勢で毎時間の授業を大切にしてください。

家庭学習のアドバイス

- 一人で考え、取り組む家庭学習の時間を設定することで着実に学力は付いていきます。教わるばかりでなく、自分だけで考える家庭学習は大事な時間です。

その他

- 漢字検定を年に2回、校内で実施します。プリントや掲示でお知らせします。読書については、お薦めの良書から選択して、どんどん読みましょう。